

新市長の市政方針を聞く

登地 靖徳 議員

答 広島湾架橋構想は生きている



登地 広島湾架橋構想をただす。

市長 平成10年3月「21世紀の国土のGデザイン」で地域連携軸の一つとして、広島湾架橋を含む「島根・広島・愛媛・高知を結ぶ連携軸」が位置付けられている。

さらに「江田島市総合計画」においても「広島・松山ルート構想及びその一部となる広島湾架橋構想の推進」を掲げ、本市の長期的な課題である。

登地 倒産・閉店の波にゆれる商工業振興策、将来展望が見えにくい農業・水産業の振興策、12月2日沖美町沖における中国船による「カキいかだ破損事故」等の対応策は。

市長 商工業振興は、中小企業向けの制度融資や保証制度の創設・拡充を行う。商品券会の設立で消費拡大等の活性化を図る。

農業振興策は、活性化プロジェクトを立ち上げ、担い手への農地集積と基盤強化、農業法人の取り組みを、水産業振興は、「共同出荷」による江田島産水



みんなが待っている
広島湾架橋

(出典：江田島市誕生の記録)

産物のブランド化」等を積極的に支援します。

産業部長 カキいかだ破損事故については、近代化資金、信漁連制度等により対応します。

登地 累積赤字に苦しむ交通船改善計画は。

市長 将来的には、高速船のみの運航を検討します。

登地 バスと船との接続に大変不便があるが、その改善策は。

企画振興課長 バスと船との接続に問題があることは知っております。乗り継ぎがスムーズに行くよう検討します。



答 自治会組織と行政が協働する

協働のまちづくりは

濱西 金満 議員

濱西 全国的に町内会（自治組織）の存在が問われています。住民が参加

する暮らしに最も身近な組織なのに、何のために存在しているのか、よく

分からない人も少なくないのでは。各種団体にも自治会・女性会・老人クラブ・消防団等いろいろとありますが、各組織を連携して地域活動の実践を進めればと思いますが、どのようにお考えですか。

市長 自治会組織の形成に力を入れた結果、全域で自治会組織が機能し始めている。地域が発展するには、地域に応じた行政サービスをしていく必要がある。また、町づくりの主役である住民と行政がお互いの役割をしっかりと認識し、自治会組織と行政がスクラムを組んで、進めます。

濱西 自治会への補助金は、世帯数の割合に応じて出されていますが、自治会が行う仕事に補助金を出したらいかがですか。

総務部長 一つの地域の町づくりに対して、助成金を出すようにしています。

濱西 「協働のまちづくり協議会」のような組織をつくられると思います。具体的な施策はあるか。

市長 地域活性化支援員を置いて、その地域の課題・要望等を各団体で見調整してもらえばロスもなく、すばやく対応できると考えます。



▲ 大君 とんど祭り

人材の活用を

答 適材適所に配す

野崎 剛睦 議員

野崎 職員の人材活用を図り、行政サービスの向上を。資金不足に陥っている交通船事業は大胆な経営改革を。公共事業は、費用と効果と将来の人口減を予測した見直しを要する。

予想して再検討を行うが、防災や環境整備及び地域の小規模な工事は、効率的な執行をする。

野崎 農業や漁業の振興は無論のこと、観光事業に支援施策が望まれる。

市長 この難局を乗り切るために、職員の意識改革が必要です。そのために提案制度や職場異動の希望を聞き入れ、適材適所に配置して職員の活力を引き出す。交通船事業は、市民の重要な生活航路であるので将来とも維持を図るが、第2音戸大橋開通後は、フェリーの廃止を視野にいれ検討する。公共事業は、人口減を

市長 本市の自然を活かした農業・漁業の体験型観光に「青少年交流の家」と連携して振興を図る。「海辺の新鮮市場」や「さくら」のPRを行う。

副市長 「サンビーチおきみ」と「海上ロッジ」及び「シーサイド温泉」の3施設を一体化した運営モデルを作成して、指定管理者制度で再建を図

協働のまちづくり

野崎 協働のまちづくりには、自治会と支所に助成金と予算の増額を要するが、どうか。

市長 地域内の各種団体が一体化となる組織に補助金を効果的に交付する。また、支所には地域と



▲ 海辺の新鮮市場（江田島町江南）

行政のパイプ役として地域活性化支援員を置き、地域の課題に協働で取り組みます。